

2024年7月24日 石田昌宏参議院議員来県

県内、南から北7施設を訪問、石田まさひろ議員からの処遇改善についての報告会等、会員の皆様から「有意義な時間でした」との意見が多く聞かれました。また、栃木県議会看護支援議員連盟役員議員との意見交換、看護協会訪問と多忙な一日でした。ご協力していただいた施設の皆様ありがとうございました。



佐野厚生総合病院



国際医療福祉大学病院



芳賀赤十字病院



獨協医科大学病院



(公社) 栃木県看護協会



栃木県議会
看護支援議員連盟役員と



栃木県医師会事務所前

40代研修

7月20日（土）
コンセーレ アイリスホール

看護師の交代勤務は不可欠であるが、離職の最大の原因である。当院でも、夜間勤務は、不穏患者の増加や緊急入院対応により、看護師の疲労につながっている。病棟での業務改善や院内での夜勤処遇改善の動きはあるが、記録の充実や、身体拘束を避けるため、患者対応には時間を要し企業努力だけでは限界がある。

今回友納議員の講演会を受け、国会への働きかけは看護業界に必要不可欠と痛感し、現場の意見をあげていきたいと考える。

とちぎメディカルセンターしもつが 坂井美穂



中堅研修会に参加して

9月12日（木）
コンセーレ アイリスホール

小倉会長より、看護連盟の活動や歴史について講演していただきました。看護制度改革と労働環境改善のために、政治の決定の場である国政・地方議会に現場の声を届けることが重要だと感じました。後半では、「笑顔で楽しく看護をするために」という講演を聴講しました。看護を行うにあたって【如実知自心】ストレスマネジメントができ、自分の心を正しく知ることが重要であると学びました。心に寄り添う看護が看護の楽しみであると思えるように、セルフマネジメントや心のゆとりを持てる労働環境、制度改革などができる社会づくりに参加できるようにしていきたいと思います。

獨協医科大学病院 岡田美穂

